



YANMAR

ジョンディアコンバイン

JD-S Series

JD-S7.700 (460PS) / JD-S7.800 (540PS) / JD-S7.900 (617PS)



JOHN DEERE



ヤンマーホームページ
<https://www.yanmar.com/jp/>



ヤンマーアグリ最新情報をご紹介
ヤンマーアグリ
公式facebookページ



ヤンマーアグリ製品やサービスをご紹介
「ヤンマー農業チャンネル」
YouTube チャンネルはコチラ



ヤンマーアグリ株式会社

〒702-8515 岡山県岡山市中区江並428
yanmar.com

⚠️ 安全に関するご注意

- ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 無理な運転は商品の寿命を縮め、故障・事故の原因となることがあります。
- 故障・事故を未然に防止するため、定期点検は必ずおこなってください。
- 保証書はご購入の取扱い店で必ずお受け取りください。

商品についてのご意見、ご質問は下記へ…

このカタログの仕様は、改良などにより、予告なく変更することがあります。

2026年3月作成 01116-J00700 2603©

※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

ホイール仕様とクローラ仕様をラインアップ。

ほ場条件と用途に合わせて選択!



ホイール仕様	
仕様	ホイール
トランスミッション	プロドライブ
変速段数	無段
最高速度	30km/h
4輪駆動	オプション
ヒルマスタ― (水平装置)	○

※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。



クローラ仕様	
仕様	クローラ
トランスミッション	プロドライブ
変速段数	無段
最高速度	30km/h
4輪駆動	オプション
ヒルマスタ― (水平装置)	—

※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

走行部			型式		
仕様	前	後	JD-S7.700	JD-S7.800	JD-S7.900
ホイール	800/70R32	520/80R26	○	—	—
	800/70R32	500/85R24	—	○	○
クローラ	幅 762mm (30 インチ)	520/80R26	○	—	—
		500/85R24	—	○	○

クローラはホイールと比べ、多くの利点があります。

1 広い接地面積で踏圧を軽減

踏圧が低いことで、土の締めりが軽減され、収穫後の耕起作業でのトラクター燃費を抑えることができます。

2 セルフクリーニングトレッド

クローラトレッドは、ラグ高さが高く、摩耗に対する耐久性が高いです。55度のトレッド角度で、泥は容易に取れる構造となっています。

3 快適な乗り心地

ジョンディア社独自のクローラサスペンションデザインは5つのピボットポイント技術を装備し、ほ場の凸凹に追従し、スムーズな走行を実現します。



Smart Device

スマート装置 ※I仕様

自動操舵を装備し、運転が不慣れな人でも能率良く作業ができます。また、収量センサー・水分センサーを備え、リアルタイムに収穫物の状態を確認できます。



※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

グランドスピードオートメーション

オペレータが設定した車速制限・エンジン出力制限・グレンロス制限・排出モード制限に対して、下記のインプット情報を常に検知し、収穫作業時の車速を自動で調整します。

グランドスピードオートメーションは、ほ場条件の変化に応じて車速を最適化することで、安定した収穫量を確保し、生産性の向上に貢献します。

〈インプット情報〉

- ・グレンロスセンサー
- ・マスフロー(収量)センサー
- ・StarFireレシーバー(受信機)
- ・エンジン負荷検出
- ・トランスミッション負荷検出



自動操舵(I仕様)

油圧式自動操舵ハンドルと、精度±15cmのSF1信号に対応した一体型SF7500レシーバを搭載。



収量センサー・水分センサー(I仕様)

収量センサーと水分センサーをクリーニングエレベータに搭載。収穫中のデータをリアルタイムでコマンドセンターに表示。



Display

ディスプレイ

A G5Plusエクステンドモニター

12.8インチの大画面を採用。コマンドセンターに加え、エクステンドモニターを利用することで、2画面で収穫状態、コンバイン設定、自動操舵などを確認でき、正確な作業を実現します。

B コーナーポストディスプレイ

背景が黒色の8インチディスプレイを装備。

- ①時刻、稼働時間、燃料使用可能時間
- ②車速、エンジン回転数、エンジン馬力、冷却水温度、燃料残量、尿素残量等
- ③刈取りプラットフォーム位置(高さ、圧力、傾き)
- ④テーリング量、グレンロス

※テーリング量:選別工程で再処理される未脱穀粒や異物の量。



C G5Plusコマンドセンター

日本語・タッチパネル対応の12.8インチの大画面を採用。オペレータの好みに合わせた画面設定ができ、収穫作業時の操作や機械状態を容易に確認できます。また、コマンドセンターで自動操舵の設定・操作が可能です。

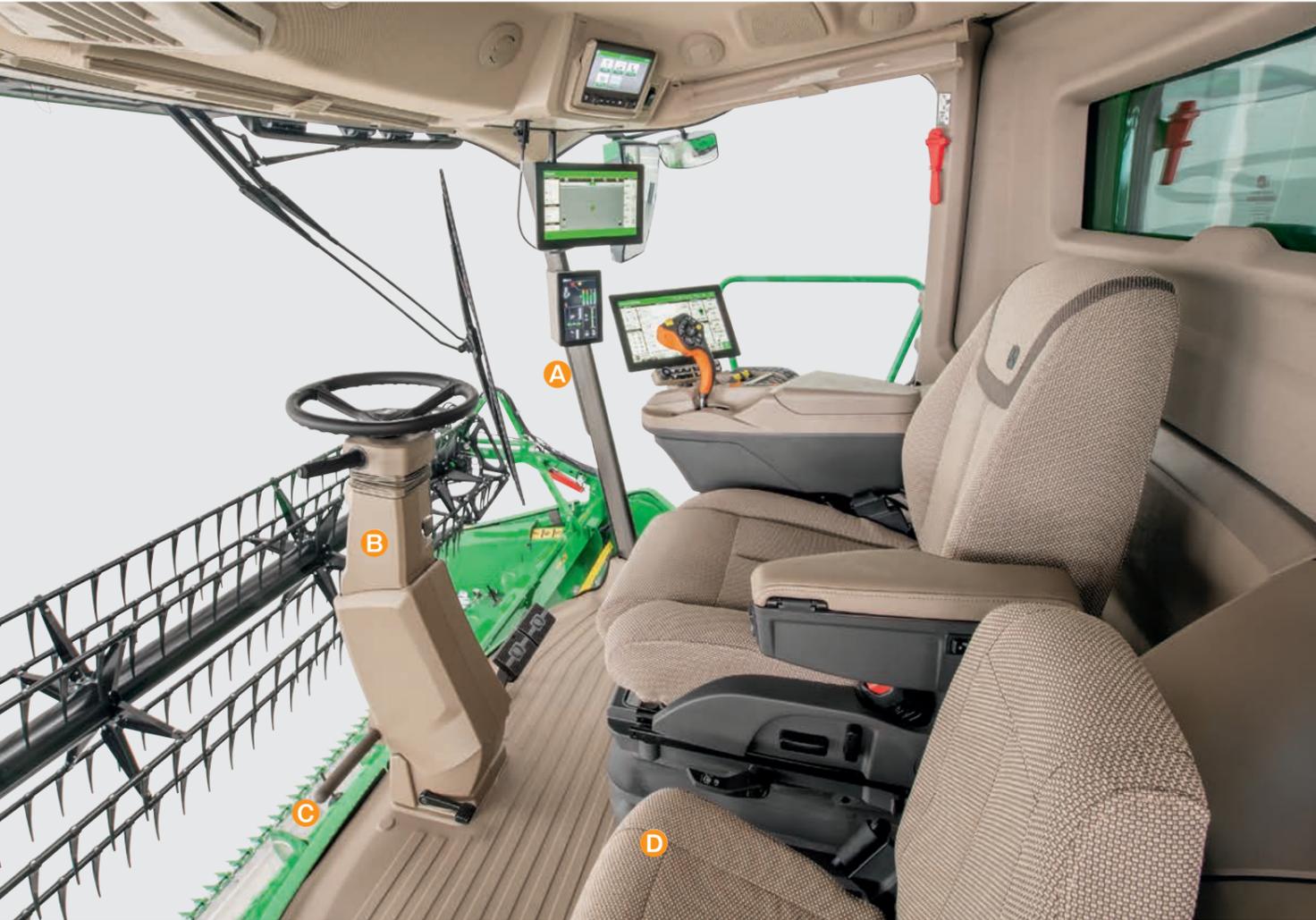


Center Cabin

キャビン

大容量キャビン(3.68m³)の採用により、快適性・視界性・操作性を追求したファーストクラスの作業スペースを提供します。

オペレータの好みに合わせた設定にカスタマイズでき、収穫作業をサポートします。



A スリムラインコーナーポストピラー

スリムなピラー形状により広い視界を確保。遮りを抑え、ほ場の様子がよく見えます。

C フットレスト

長時間の座り作業による足の疲れやむくみを軽減します。

B デュアルチルト／ステアリングコラム

2段階のチルト調整機能により、オペレータの体格に合わせてステアリングコラムの角度を調整できます。

D 教習シート

運転者の育成、指導時に使用します。



コマンドアーム

収穫作業に必要な操作レバー、スイッチ、ディスプレイをコマンドアームに集約。手元にあるので簡単にアクセスできます。



コマンドプロジョイスティック

収穫作業に必要な操作をこのジョイスティックに集約。好みに合わせて、機能をスイッチに割り当てることができます。

- ・緊急停止スイッチ
- ・刈取りプラットフォーム刈高さスイッチ
- ・刈取りプラットフォーム昇降スイッチ
- ・排出オーガ旋回スイッチ
- ・排出オーガ入/切スイッチ
- ・リール昇降/前後スイッチ
- ・自動操舵スイッチ
- ・機能割り当てスイッチ



ダストシールドア

キャビンドアは、電動モータの補助により確実に閉まります。さらに、キャビン内に圧力をかけることで、外部からの埃やゴミの侵入を防ぎます。



タッチスクリーンApp

Bluetooth機能により、スマートフォンと接続することができます。ラジオ、音楽、ハンズフリー電話を利用することができます。



充電ソケット

キャビン内には、USB充電ソケット、アクセサリソケット、12V電源ソケットを装備しています。



保冷ボックス

容量25.5Lの保冷ボックスを装備。1日の作業を快適にします。



収納スペース

キャビン内右側やアームレスト周辺などに収納スペースを配置。小物類をすっきりと整理できます。

Platform

刈取りプラットフォーム

3種類の刈取りプラットフォームをラインアップしています。
ロスを低減し、様々な作物収穫に対応します。



※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

■ 刈取りプラットフォーム 主要諸元

シリーズ	販売型式名	刈幅 (m)	全幅 (m)	質量 (kg)
RA	JD-RA16	4.87	5.23	1800
	JD-RA18	5.49	5.81	2000
	JD-RA20	6.10	6.42	2150
	JD-RA22	6.71	7.03	2350
	JD-RA25	7.62	7.94	2850
	JD-RA30	9.15	9.47	3200
FA	JD-FA16	4.87	5.60	2060
	JD-FA18	5.49	6.30	2220
	JD-FA20	6.10	7.00	2350
	JD-FA22	6.71	7.50	2540
	JD-FA25	7.62	8.50	2730
	JD-FA30	9.15	9.98	3170
RDF	JD-RDF30	9.14	10.27	3350
	JD-RDF35	10.67	11.79	3490

※刈取りプラットフォーム(JD-600Rシリーズ/600Fシリーズ)を装着する場合、別途部品が必要です。



RA(RIGID AUGER)

固定式の刈刃を備えた刈取りプラットフォームです。
作物の条件に応じてテーブル長さを調整可能で、高さセンサーにより設定した刈高さを自動で維持します。



FA(FLEX AUGER)

地面の起伏に合わせて刈刃が柔軟に追従する構造です。
地面に近い位置から刈取る必要がある豆類などの作物に最適で、調整はキャビン内から行えます。



RDF(RIGID DRAPER FLEX)

刈取った作物はオーガとベルトによって中央の大径フィードドラムへ搬送されます。
さらに、ハイドロフレックス技術を搭載しており、油圧式フロートシステムによりプラットフォーム全幅で地面の形状に追従します。
特に豆類の収穫において、優れた性能を発揮します。



Feeding

フィーダーハウス

大容量を処理できるフィーダーハウスを装備しています。フィーダーハウス内で作物の流れを均一に整えることで、後工程の脱穀・選別において優れた性能を発揮させます。



フィーダーハウス速度調整

作物のスムーズな流れを実現するため、フィーダーハウス駆動チェーン速度を向上。作物マットが平準化され、詰まりの発生を低減しました。また、減速用のスプロケットも用意しており、豆の収穫時に使用することで、収穫品質の向上が期待できます。



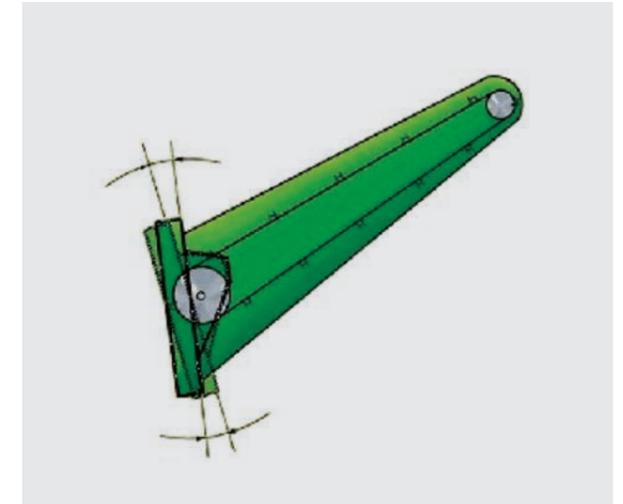
シートから刈取状況が見渡せる 良好な視界性

長く設計されたフィーダーハウスにより、オペレーターはヘッダー全体を見渡すことが可能です。体を傾けることなく、刈高さや作業状況を確認することができます。



ドラム位置の調整

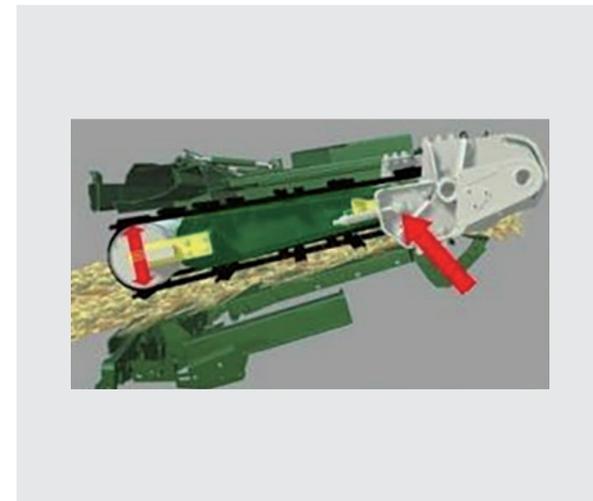
フィーダーハウスの両側にあるハンドルを操作するだけで、工具を使わずにドラム高さを調整できます。作物の種類や状態に応じて、簡単に調整が可能です。



フィーダーハウス前後チルトの調整

フィーダーハウスの前後傾斜角度は、フィーダーハウスに取り付けられているターンバックルで調整できます。刈取りプラットフォームの最適な作業姿勢の確保に役立ちます。

ホイール仕様(ヒルマスター付): $\pm 6^\circ$
クローラ仕様(ヒルマスター無): $\pm 9^\circ$



ピボットフロアー

フロントフィードドラムはフィーダーハウスの中央フレームに取り付けられており、フィーダーハウスの後方をピボットポイントとし、ドラムと内部フレームは自由に上下に動きます。作物にかかる圧力を一定にし、作物量が多い場合も詰まりなく、スムーズな流れを実現します。



ワンタッチマルチカプラー

コンバインに刈取りプラットフォームを装着した後、工具を使わずに油圧・電装関連の接続が可能です。これらの接続はワンタッチマルチカプラーに集約され、簡単に刈取りプラットフォームの着脱を行うことができます。

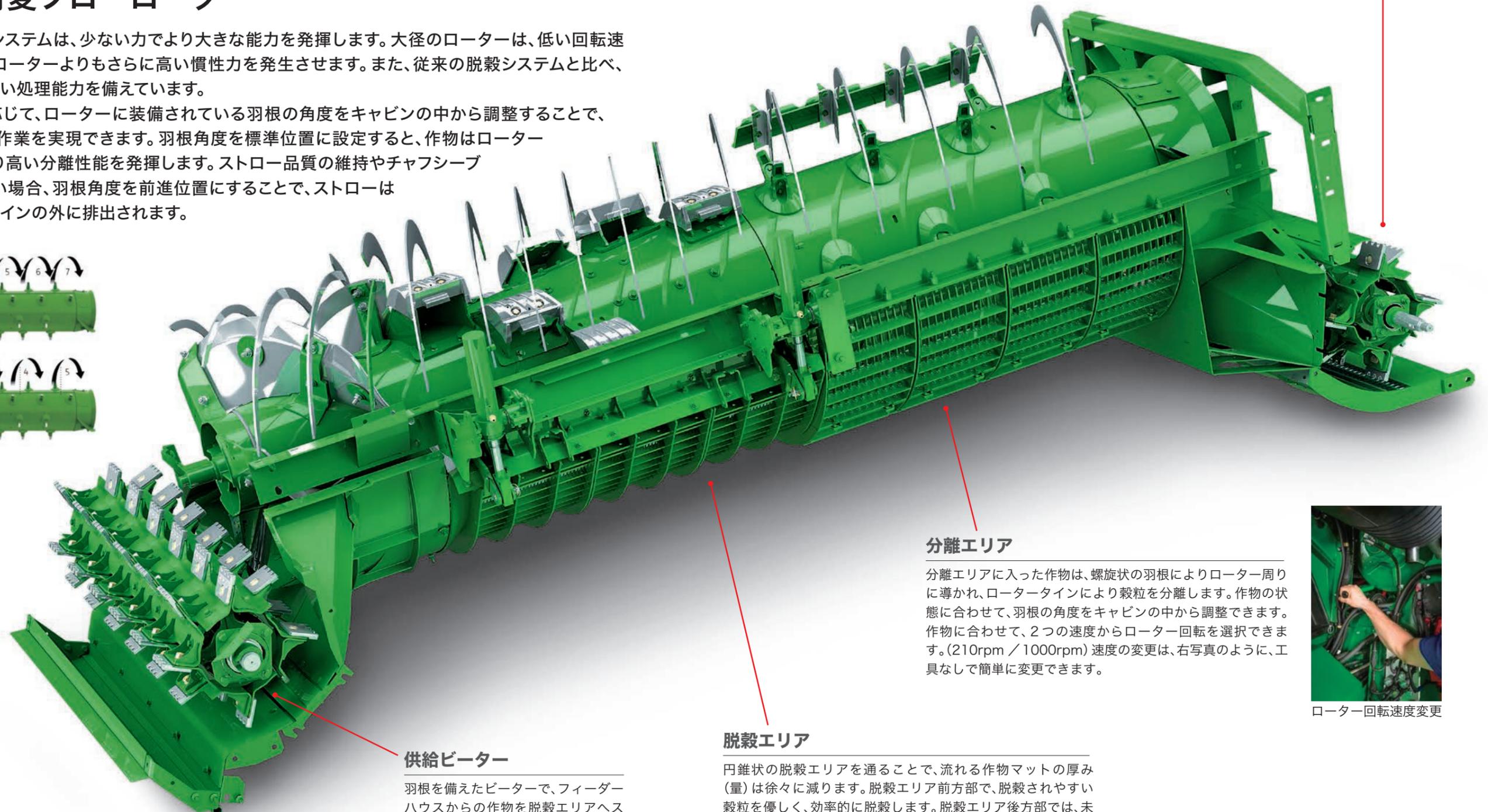
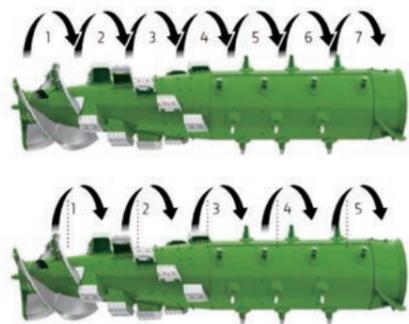
Threshing & Separating

脱穀・分離

シングル可変フローローター

シングルローターシステムは、少ない力でより大きな能力を発揮します。大径のローターは、低い回転速度においても小径ローターよりもさらに高い慣性力を発生させます。また、従来の脱穀システムと比べ、脱穀面積が広く、高い処理能力を備えています。

また、作業条件に応じて、ローターに装備されている羽根の角度をキャビンの中から調整することで、希望の品質の収穫作業を実現できます。羽根角度を標準位置に設定すると、作物はローター周りを7回転し、より高い分離性能を発揮します。ストロー品質の維持やチャフシートの負荷を軽減したい場合、羽根角度を前進位置にすることで、ストローは5回の回転でコンバインの外に排出されます。

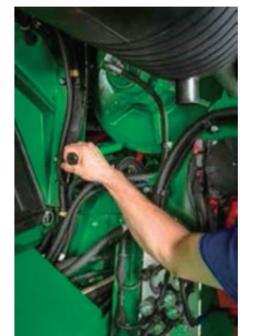


排出ビーター

羽根を備えたビーターで分離エリアから作物を残渣処理装置へ送り出します。また、ストローから穀粒を分離する役割も備えています。

分離エリア

分離エリアに入った作物は、螺旋状の羽根によりローター周りに導かれ、ローターティンにより穀粒を分離します。作物の状態に合わせて、羽根の角度をキャビンの中から調整できます。作物に合わせて、2つの速度からローター回転を選択できます。(210rpm / 1000rpm) 速度の変更は、右写真のように、工具なしで簡単に変更できます。



ローター回転速度変更

脱穀エリア

円錐状の脱穀エリアを通ることで、流れる作物マットの厚み(量)は徐々に減ります。脱穀エリア前方部で、脱穀されやすい穀粒を優しく、効率的に脱穀します。脱穀エリア後方部では、未脱の穀粒を確実に脱穀し、省力で高品質な作物を収穫できます。

供給ビーター

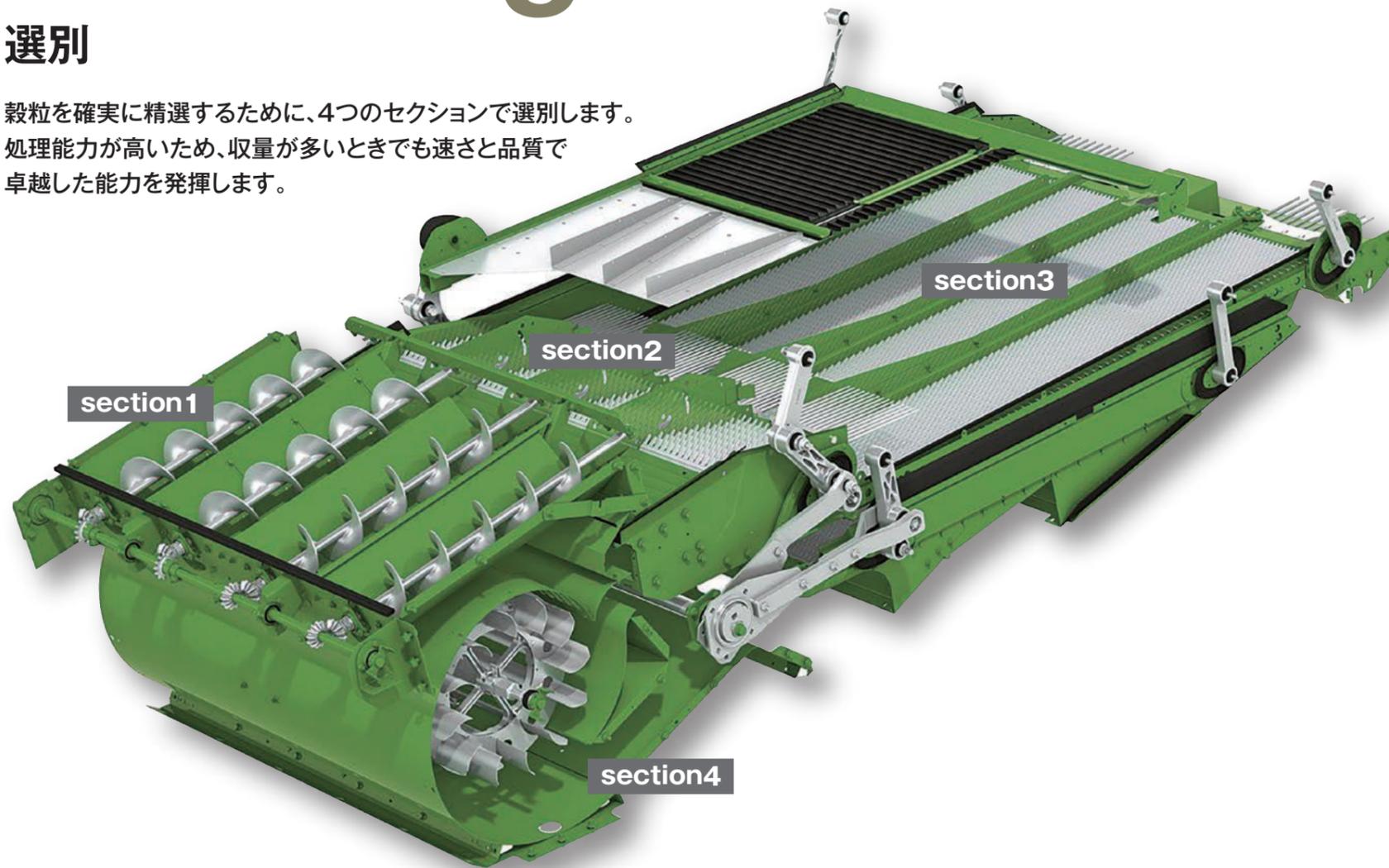
羽根を備えたビーターで、フィーダーハウスからの作物を脱穀エリアへスムーズに供給します。

※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

Cleaning

選別

穀粒を確実に精選するために、4つのセクションで選別します。処理能力が高いため、収量が多いときでも速さと品質で卓越した能力を発揮します。



section 1

コンベアオーガ

大径コンベアオーガで多量の穀粒を確実に選別部へ運びます。特に傾斜地や湿った状態でも穀物の偏りが少なく、安定した選別を行うことができます。

section 2

プレクリーナー

大容量の空気を送り込み、プレクリーナーを通過することによって、籾殻やごみを吹き飛ばします。約3分の1の穀粒はプレクリーナーによって吹き出される前に分離され、クリーングレンオーガーに直接落ち、チャフシープを通過する穀粒や籾殻の量を減らします。

section 3

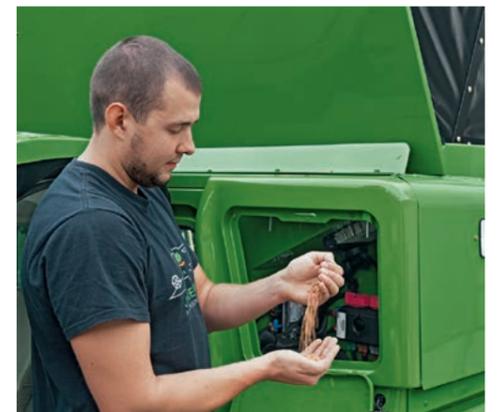
チャフシープ・グレンシープ

2つのシープでしっかりと選別します。グレンシープに落ちない場合は2番のエレベータへと運ばれ、確実にきれいな選別を実現します。

section 4

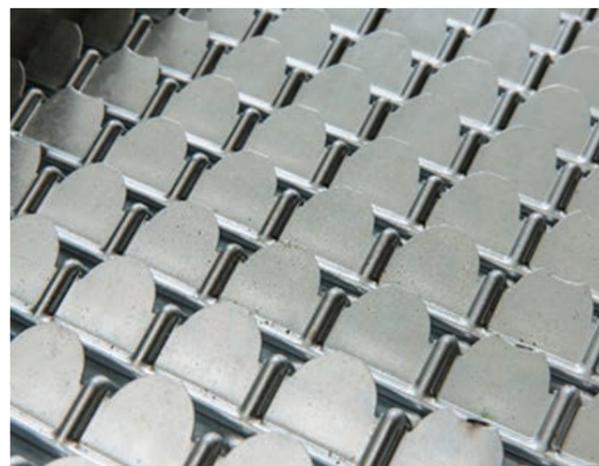
クリーニングファン

クリーニングファンの回転数を運転席から調整でき、作物の条件に合わせて適切な回転数を選択できます。これにより、きれいな選別を行うことができます。



穀粒サンプリングソリューション

穀粒選別後の品質を、すぐさま確認できます。作業後に実際に手にとり現物を確認できるので、安心です。



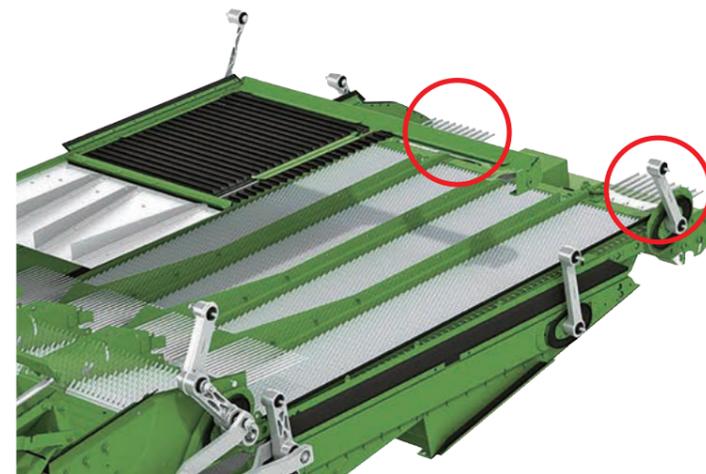
フラットトゥースコム(Flat Tooth Comb)

フラットトゥースコムルーバーは通常のルーバーよりも大きく開くことで、わらの通過を制限し、テーリング量を低く抑えるとともに、グレンタンク内のゴミの量を低減します。

デュアルレンジクリーニングファンドライブ

クリーニングファンは2つの速度レンジを装備しています。キャビン内で簡単に速度レンジを変更できます。

- ・300~600rpm
- ・550~1350rpm



スロープマスターシステム

チャフシープ後端の左右にフィンガータイププレーキを装着。最大7%の傾斜に対応できます。未脱の穂や穀粒はフィンガータイププレーキ部から脱穀シリンダーへ戻され、再脱穀されます。

Engine エンジン

高効率・低燃費エンジン

農作業で使用されることを考慮したジョンディア社製エンジンを搭載。様々な異なる収穫条件に適合させるべく、より強い鋳物やベアリングを採用。

排気ガスの環境対応は、EGR・DOC・DPF・SCRを採用。これらを同時に使用することで、DEF（尿素）の使用量は、燃料（軽油）使用量の約2%と大幅に低減。ランニングコストを低減できます。



可変容量ターボチャージャーVGT (Variable Geometry Turbocharger)

可変式のターボ羽根により、負荷によるエンジン回転が落ちそうになった時に吸気圧を高めて高トルクを確保し、粘り強さを発揮します。また完全燃焼に必要な酸素を十分に供給できるため、急激な負荷変動にも余裕で作業できます。

排気再循環システム EGR (Exhaust Gas Recirculation)

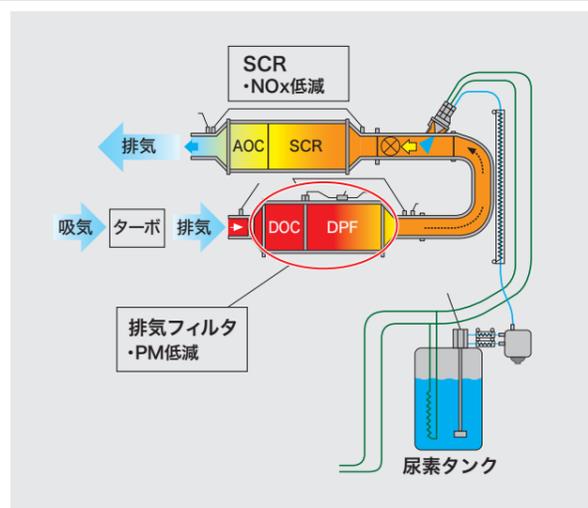
排気ガスの一部を再利用し、NOx(窒素酸化物)の排出を抑え、環境負荷を低減します。

フル電子制御コモンレール式 燃焼噴射システム

エンジンコントロールユニットにより、フル電子制御されています。コモンレールで高圧にした燃料を噴射することで、燃料を無駄なく燃焼させ、安定した出力を発揮します。

排気フィルタ(DPF+DOC)+SCR

排気ガス内のPM(粒子状物質)を排気フィルタで捕集します。捕集されたPMは最初にDOC(ディーゼル酸化触媒)とDPFによる温度上昇により分解されます。更にSCR(選択的触媒還元)により有害な窒素酸化物を中和させ排ガス基準をクリアしています。



Transmission トランスミッション

プロドライブトランスミッション

プロドライブトランスミッションは、無段変速トランスミッションです。傾斜地においても設定した速度を一定に保ちます。また、ハーベストスマート機能と連動し、最大限の生産性を提供し、オペレーターのストレス・疲れを軽減します。



※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

エンジン回転速度マネージメント

移動走行モード時、エンジン負荷に応じてエンジン回転を自動的に下げ、燃料消費を最大20%低減します。プロドライブトランスミッションとの連携により、移動走行で坂道を走行する際も、エンジン回転は必要最低のエンジン回転を維持し、コマンドプロジョイスティックで設定された速度で走行します。エンジン回転を必要最小にすることで、燃料消費を抑え、騒音低減により、快適な作業空間を提供します。

Hillmaster

ヒルマスター(HM仕様※ホイール仕様のみ)

ヒルマスターシステム(最大対応傾斜15%)とスロープマスター(最大対応傾斜7%)を組み合わせることで、最大傾斜22%のほ場でも平坦な土地と同等の脱穀・選別性能を実現します。



※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

Grain Tank

グレタンク

大容量グレタンクと高速排出オーガにより、作業能率を向上させました。



※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。



排出オーガ先端角度調整

キャビン内から排出オーガ先端角度を調整できます。穀粒の排出作業をより正確に行えます。



折り畳み排出オーガ

移動走行する際は排出オーガを折り畳み、機体をコンパクトにできます。

チョッパー「切」

Residue Management

チョッパー

100枚のナイフを装備したチョッパーです。
キャビンの中からチョッパーの「入」「切」の切り替えができます。

チョッパー「入」



チョッパー「切」



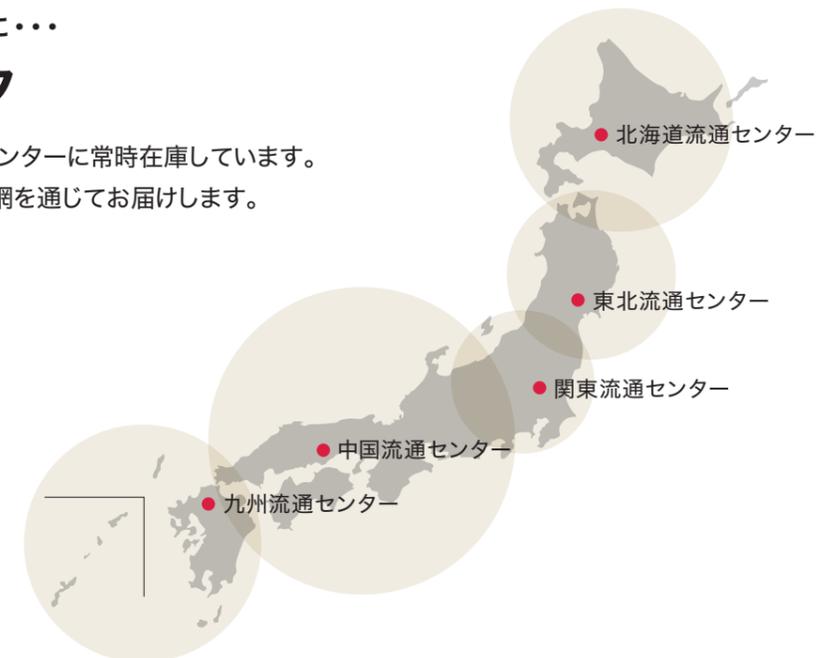
※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

最高の状態でお使いいただくために・・・

部品供給ネットワーク

ヤンマーでは、必要な部品を5ヶ所の流通センターに常時在庫しています。
お客様が必要なときに、必要なものを、販売網を通じてお届けします。

- 地域に密着し、お客様の手元へ迅速に部品をお届けします。
- より早く、正確にお届けするために、システムネットワークによる情報の一元化を図っています。



※写真はヨーロッパ仕様のため、国内仕様と異なる場合があります。

■ 主要諸元

名称		ジョンディアコンバイン		
販売型式名		JD-S7.700		
区分		ホイール	クローラ	
機体寸法	全長(ヘッダーなし)※移動走行時 (mm)	9220		
	全幅(ヘッダーなし)※移動走行時 (mm)	3970	3750	
	全高 ※移動走行時 (mm)	4110	4170	
機体質量(ヘッダーなし) (kg)		19800		
エンジン	型式名	6090HH031		
	種類	JD9X		
	気筒数	6		
	総排気量 (L)	9.0		
	定格出力(ECE R120) (kW[PS]/rpm)	300{402}/2200		
	最大出力(ECE R120) (kW[PS]/rpm)	343{460}/2000		
	使用燃料	軽油		
	燃料タンク容量 (L)	950.0		
	尿素タンク容量 (L)	74.2		
	排気ガス対応	Stage V		
走行部	軸距 (mm)	3530		
	タイヤ	前輪	800/70R32 クローラ(30インチ)	
		後輪	520/80R26	
	トランスミッション	種類	プロドライブ	
	変速段数 (段)	無段		
	最高速度 (km/h)	30		
脱穀部	シリンダー	直径×幅 (mm)	834×3124	
		回転数 (rpm)	210~550/380~1000	
	有効面積 (m ²)	2.75		
選別部	選別ファン (rpm)	620~1350		
	有効面積 (m ²)	5.9		
排出部	グレンタンク容量 (L)	10600	10600	
	排出オーガ	排出能力 (L/秒)	150	
		長さ (mm)	6900	
		旋回角度 (度)	105	

※この主要諸元は改良などにより、予告なく変更することがあります。
 ※この主要諸元はジョンディア社の情報に基づくものであり、実測値と異なる場合があります。

ジョンディアコンバイン			
JD-S7.800		JD-S7.900	
ホイール	クローラ	ホイール	クローラ
9220			
3970	3750	3970	3750
4110	4170	4110	4170
22300			
6136HX501			
JD14X			
6			
13.6			
353{473}/2000		405{543}/2000	
402{540}/1800		460{617}/1800	
軽油			
1155.0			
74.2			
Stage V			
3530			
800/70R32	クローラ(30インチ)	800/70R32	クローラ(30インチ)
500/85R24			
プロドライブ			
無段			
30			
834×3124			
210~550/380~1000			
2.75			
620~1350			
5.9			
10600	14100	10600	14100
150			
6900			
105			